

福島県におけるGAPの取得支援について

ふくしま。GAPチャレンジ宣言

(平成29年5月15日福島県・県農協中央会)

風評を払拭し、ブランド力向上と信頼される産地づくりに向け、GAP日本一を目指し、県を挙げて認証取得にチャレンジ。

「東京2020大会」に食材として提供し、国内外に安全性を発信。

福島県におけるGAPの認証取得目標

	現在	32年度
GLOBALG.A.P JGAP	10件	141件
県GAP	—	220件
農産物の認証取得割合 (GLOBALG.A.P+JGAP+県GAP)	0.1%	51%以上

※ 福島県農林水産部資料より抜粋

推進
・
支援

第三者認証GAP取得促進事業

(福島県農林水産業再生総合事業【47億円の内数】)

- 農業者等の第三者認証GAP取得の取組を支援
(例) 認証の新規取得に加え、**継続**に必要な経費の**全額**補助等
- 産地の指導体制の構築を支援
(例) 県普及指導員やJA営農指導員のGAP指導員育成等
- **GAPの見える化による消費者のGAP理解促進を支援**
(例) 産地のGAP取組状況をインターネットで発信するシステムの構築等

※ 「GAP (Good Agricultural Practice)」とは、農業において、食品安全、環境保護、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取組。GLOBALG.A.P、JGAPなど取組を認証する仕組みあり。

※ **赤字**は福島県向け事業として特に充実しているもの。

対象品目

米、畜産物、青果物（きゅうり、トマト、桃等）、きのこ、水産物（カツオ、コウナゴ等）の計20品目

対象者	調査内容	手法
生産者団体・生産者	生産・出荷量等	統計データの活用
卸・仲卸業者	卸売数量・価格等	ヒアリング
加工・小売・外食業者	仕入・販売価格等	アンケート
消費者	購入意向等	アンケート

委託先

アクセンチュア株式会社

進捗状況

J A等の主要な生産者団体や生産者はヒアリング済み
現在、卸・仲卸業者を中心に調査を実施中

これまでの開催状況

第1回（平成29年2月6日）

議事内容：風評被害の現状
風評の払拭に向けた取組
今後の進め方 等

第2回（平成29年4月28日）

議事内容：風評の払拭に向けた取組
福島県産農産物等流通実態調査について
今後の進め方 等

第3回（平成29年6月5日）

議事内容：風評払拭対策協議会の取組の進捗状況 等



第3回会議の様子

参加機関

農林水産省、復興庁、内閣府原子力被災者生活支援チーム／経済産業省
福島県

J A 福島中央会、J A 全農福島、福島県内 J A

農林水産省独自の取組

平成28年度に引き続き、以下の取組を実施。

- 17都県の検査結果をWebサイトに掲載。
- 消費者団体、マスコミ、大手小売等と検査結果について意見交換。

関係府省等と連携した取組

消費者庁等の関係府省、地方自治体等と連携して、引き続き以下の取組を実施。

- 消費者を対象に、食品中の放射性物質に対する取組について情報提供を行うとともに、今後の対策と検査のあり方について意見交換。
- 小学生とその保護者を対象としたイベントで、放射性物質の基礎知識について情報提供。